

パープルリボンは、女性に対する暴力撤廃運動の国際的シンボルマークです。



11/24:パープルリボン・コンサート 出演者募集!!

>>>女性に対する暴力(DV・セクハラ・他)根絶を目指し、音楽で繋がろう!<<<

11月25日は国連・女性に対する暴力撤廃デーです。その時期に合わせ、昨年に引き続き、今年も《パープルリボン・コンサート》を開催します。これは、DV,セクハラ,性犯罪,他、女性に対する暴力をなくし、女性・男性の良好な関係を築くことを願おうと、音楽を持ち寄って奏でる、市民参加型のコンサートです。今回、趣旨に賛同する出演者を募集します。舞台では、服のどこかに思い思いのパープルリボンを装着して演奏します。出演者の性別、プロ・アマの別も問いません。出演は次の2種類からお選び下さい。

【1】自由演奏(15分以内)⇒オープンマイク枠

演奏曲は、クラシック・ポピュラー・民族音楽等、ジャンル不問、楽器・ヴォーカルなど、演奏形態も不問です。冒頭で「その曲を選んだ理由」を手短かに語ってから演奏します。出演料=800円(東京都及び隣接県よりも遠方の方は出演料免除)。10組程度を予定。先着順で締切ります。

【2】DV防止キャンペーン音楽の歌曲の歌手、およびピアノ伴奏者を公募しています。

■ 曲目:草柳和之[注3]作詞・野村誠[注1]作曲

『DV撲滅ソング～DVカルタを歌にした』(2014)[注2]

【同時募集】本イベントの実行委員も募集中です。ご連絡をお待ちしています。

〔コンサート日時〕2018年**11月24**日(土),13:30～16:45。

〔会場〕聖書キリスト教会:練馬区豊玉北1-12-3 〔参加費〕500円(出演者不要)

*西武池袋線江古田駅8分/都営地下鉄大江戸線新江古田駅5分

〔問合先〕メンタルサービスセンター:〒176-8799 練馬郵便局留

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/> ☎03-3993-6147

★活動内容問合せ、カウンセリング等は上記にご連絡下さい。



【注2】⇒曲の紹介

草柳和之は、幅広い活動の発展の中で、DV根絶を願う音楽の必要性を思い立ち、自らのピアノ演奏のために、2001年、野村誠氏に作曲を委嘱(作曲依頼)しました。それが「DVがなくなる日のための『インテルメッツォ(間奏曲)』」でした。(11/24に演奏予定)

その10数年を経て、DV防止キャンペーン音楽第2曲として委嘱されたのが、本曲の『DV撲滅ソング』です。その歌詞の元となったのが、《DVカルタ》です。これは、DVをテーマにカルタとして編集したDV問題啓発ツールであり、全44枚の読み札・絵札・解説書から構成されています。その読み札を並べて歌詞として作曲されました。曲は明るく時に大胆、シュールだがおかしい、このミスマッチがディープな音楽体験へと誘います。全4曲。演奏時間約13分。

■上記の曲の楽譜は、主催のメンタルサービスセンターにて販売しています。一部900円。詳しくはお問合せ下さい。

【注1】《作曲者紹介:野村誠》

日本センチュリー交響楽団・コミュニティプログラム・ディレクター。インドネシア国立芸術大学客員教授、東京芸大講師等を歴任。2003年第1回アサヒビール芸術賞他の受賞歴がある。共著『老人ホームに音楽がひびく』(晶文社)他多数。エディンバラ大学(英)、マヒドン大学(タイ)、 FolkVanguard大学(独)、等でワークショップを行う。彼の曲は世界20カ国以上で演奏されている。

【注3】《プロフェース:草柳和之》

メンタルサービスセンター代表・カウンセラー。大東文化大学非常勤講師。DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの体系的実践に着手、その方法論の整備、専門家研修の提供等により、この分野をリードしてきた。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。

著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、共著『標準音楽療法入門 下』(春秋社)、他、多数。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。日本音楽療法学会会員。長年のDV問題の先駆的取り組みが評価され、社会貢献支援財団より、